

初公演
新作人形浄瑠璃

阿波 遍路 恋唄



原案 陶久敏朗
脚本・作曲 鶴澤友輔

出演

太夫 竹本友廣

三味線 鶴澤友輔

人形 中村園太夫座 (岡花座)

あらすじ

四国霊場二十一番札所太龍寺と二十二番札所平等寺を結ぶ遍路みちの途中にある
オトンボ山。その祠の前で足をくじいた遍路姿の女・お梅が動けずにいる。
そこへやって来た麓の村の竹一とお松は恋人同士、二人は倒れているお梅に
水と芋を与えて介抱する。江戸に帰ればお礼がしたいと申し出るお梅に、
お遍路さんに親切なのは当たり前、これがお接待の文化と口を揃える。
そして、二人はお梅にお遍路とお接待の意味を語り始める。

日時
令和4年3月27日(日)

開演 15:30~

※100席限定 / 当日14:45~ 整理券配布

会場
徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

料金
一般¥410/高・大¥310/小・中¥200

主催 中村園太夫座 / 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

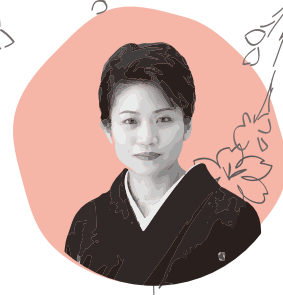
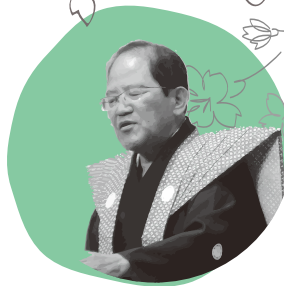
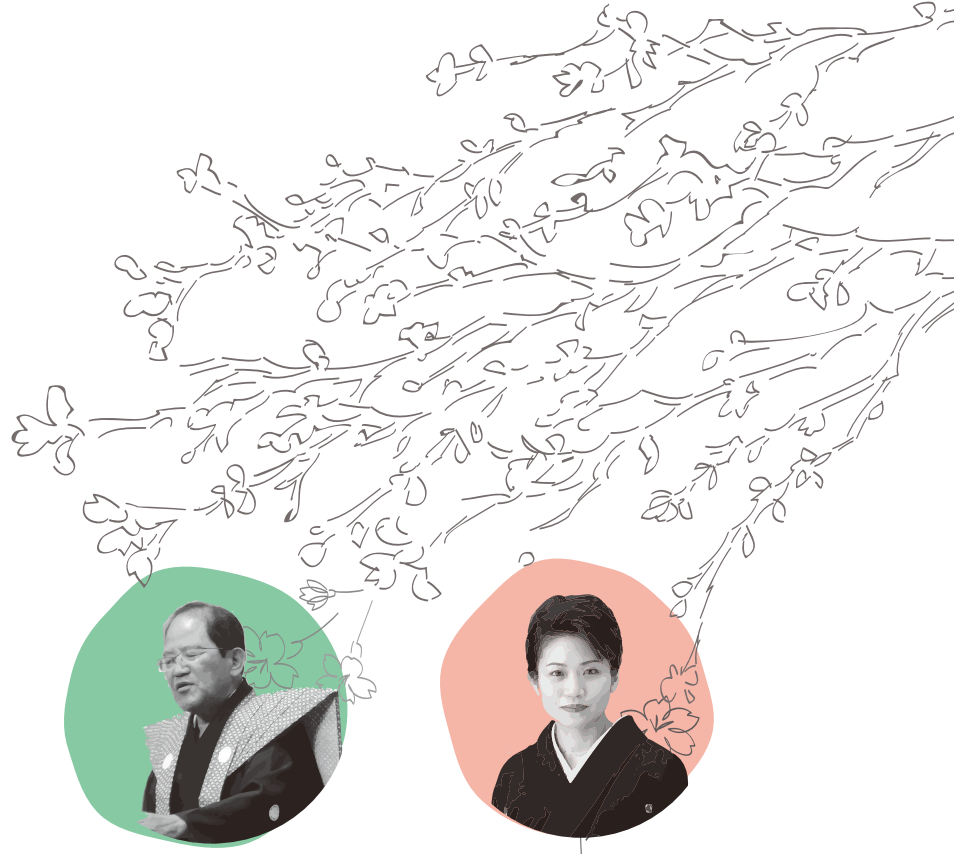
音坊山





初公演 | 新作人形浄瑠璃

阿波遍路恋唄



脚本・作曲・三味線 — 鶴澤友輔

東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業。人間国宝鶴澤友路師匠に師事。国民文化祭・とくしま二〇〇七で瀬戸内寂聴原作の新作浄瑠璃「義経街道娘恋鏡」
「モラエス恋遍路」の作曲・演奏を、二〇一二年の全国初二度目の国民文化祭では「阿波の心」の作曲と弾き語りを担当した他、これまで数々の作曲を手がけている。県内外はもとより海外公演にも参加するなど精力的に活動を続け、平成一三年に(財)徳島県文化協会の芸術文化奨励賞を受賞。平成一八年には、徳島県から阿波文化創造賞を受賞した。

太夫 — 竹本友廣 (吉田一紀)

一九四六年生まれ。二〇〇七年、国際文化祭徳島大会において、瀬戸内寂聴原作の新作浄瑠璃「義経街道娘恋鏡」
「モラエス恋遍路」の節付け及び太夫を担当。二〇一六年、教育文化功労により瑞宝小綬章を受賞。現在、徳島浄瑠璃の会長、淡路素義審査会審査委員、(公財)徳島県立文化財埋蔵センター元理事。

人形 — 中村園太夫座 (岡花座)

阿南市新野町の岡花と西光寺で成る中分地区で、江戸末期の文化二年から活動しており、現存する県内の人形座の中で最も古いといわれている。中分地区の氏神である八坂神社のお神輿の代わりとして始められ、四七軒の家督を相続をする長男だけが人形座に参加する資格があった。平成一〇年ごろから他の地域の人や女性を座に迎えるようになり、現在は公民館やホールなどで絵本太閤記や合邦などの古典的外題を上演して伝統文化の保存・継承に努めている。近年では平成二三年、拉致問題をテーマにした創作浄瑠璃「越後母恋情話」を初演。平成二四年には宮城県気仙沼市、平成三〇年には南阿蘇村へ復興支援公演を実施。初代・天狗久作の六体と福山佐平作の一体が県指定の文化財になっている。

お問い合わせ

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷
徳島市川内町宮島本浦 184
Tel.088-665-2202 Fax.088-665-3683
awajurobeyashiki@mf.pikara.ne.jp

アクセス 車

JR 徳島駅から約 15 分
徳島自動車道 徳島インターより約 5 分

バス

JR 徳島駅徳島市営バスターミナル7番のりば
川内循環バス左回りで約 25 分「十郎兵衛屋敷」下車すぐ